

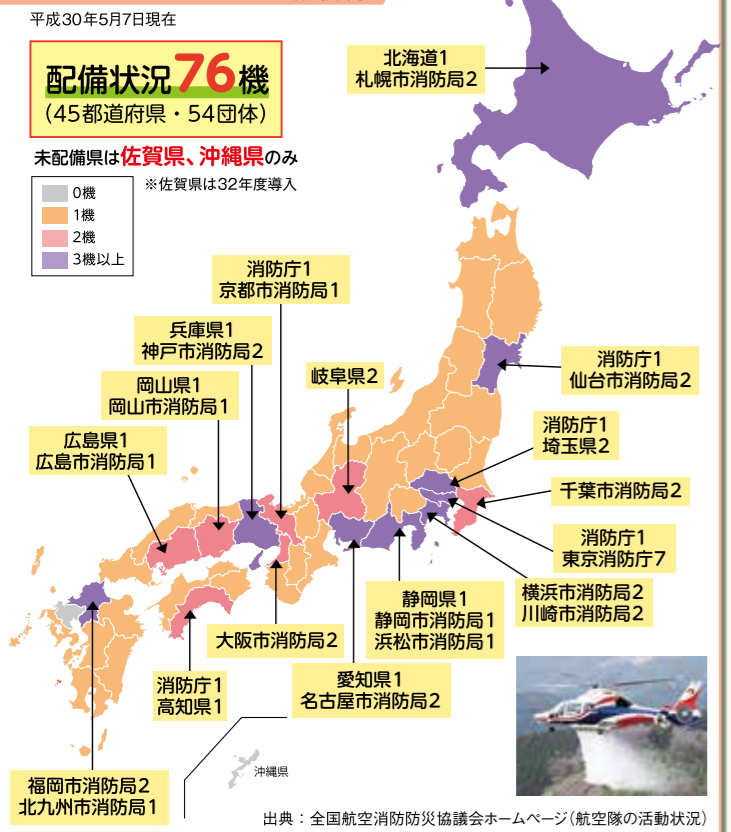
第6回 沖縄21世紀ビジョン

沖縄県消防防災ヘリコプターの導入 検討について ~防災体制の強化、空からの救助~

消防防災ヘリコプターの任務

消防防災ヘリコプター(以下「消防防災ヘリ」という。)は都道府県が設置して消防を支援する任務を負い、平時においては救助・救急活動、空中消火活動及び情報収集を中心とした活動を行うほか、大規模災害発生時には、ヘリコプターの高速性・機動性を活かした物資輸送や広域応援なども行います。全国では沖縄県と佐賀県だけが未配備ですが、佐賀県は平成32年度運航に向け準備しているところです。

消防防災ヘリコプターの配備状況



消防防災ヘリの必要性

沖縄県は、島嶼地域で他県から遠隔地にあり、大規模災害が発生した際には応援がくるまで時間がかかるという地理的特性があります。増加する人口・観光客の事故等による救助・捜索活動や都市部に増える高層ビルで火災や事故等が発生した場合の消火・救助活動にも消防防災ヘリがあれば迅速な対応が期待できます。

消防防災ヘリ導入について

救急医療体制の補完	ドクターヘリ重複要請による非稼働事案等への対応
捜索救助・消火	●ビル火災時等の救助・消火 ●行方不明者の捜索救助 ●水難事故時における捜索救助
情報収集	●台風襲来時、大規模地震発生時の情報収集 ●火災時における上空からの映像伝送
大災害(被災)	●災害時の初期、中期の災害対応活動 ●隔絶性の高い離島地域への応急対策活動 ●ヘリ運用調整能力の向上
大災害(応援)	被災地への支援活動

消防防災ヘリの導入(消防防災体制の強化)
県民の安心・安全 全国の航空消防援助体制

他機関ヘリコプターの役割と連携

現在、離島の急患搬送は自衛隊や海上保安庁、救急搬送はドクターヘリ、捜索活動は県警・海上保安庁などそれぞれの法律や協定等により要請し対応しているところですが、消防防災ヘリはどの活動も自主的に対応することができます。もちろん、消防防災ヘリが導入された後も各関係機関のヘリコプターと連携していくことになります。

導入までの予定

平成29年度に調査検討を行い、平成30年度は県と市町村で消防防災ヘリを導入するための協議を行っており、導入することが決まれば最短で平成34年度の運行に向けて機体・機材の選定やヘリ基地等の整備を行っていきます。沖縄県の防災体制の強化に向け、消防防災ヘリの導入についてみんなで考えていきましょう。



開催迫る! 技の日本一決定戦

おきなわ技能五輪・アビリンピック全国大会



レストランサービス競技



造園競技



全国から選抜された様々な職種の優秀な技能者が、沖縄で技能日本一を競います。おきなわ技能五輪・アビリンピック全国大会、いよいよ11月に開催です。

サービス業が中心の沖縄県ではめったに見られない工作機械、職業、技、選手たちの奮闘する姿、必死に課題を仕上げる姿をぜひ見に来てください。将来自分がどんな仕事につくのか、つきたいのかそのためにはどんな努力が必要なのか考える良い機会になります。

技能五輪全国大会・全国アビリンピックとは

「技能五輪全国大会」は、原則23歳までの若者を対象に、幅広い職種で、その技能の日本一を競う競技大会です。昭和38年から毎年開催されています。競技職種は旋盤、電子機器組立て、左官、西洋料理など42職種あります。



「全国アビリンピック」は、「全国障害者技能競技大会」のことで、15歳以上の障害のある方が、技能を互いに競う競技大会です。昭和47年から開催されています。競技種目はコンピュータプログラミング、ビルクリーニング、フラワーアレンジメントなど22種目あります。

大会のポイント

- 沖縄県で初めての開催となる技能競技全国大会です。
- 県内外から選手及び関係者が約3,200人、企業関係者や見学者等を含めると延べ15万人程度の来場を予定しています。
- 各会場において飲食ブース、ものづくり体験などがあります。
- 競技・イベントともに見学は無料!
- 期間中は周辺会場を結ぶ無料シャトルバスも運行!

みどころ、内容

- 競技は全部で64競技あります。技能五輪は42職種、アビリンピックは22種目あり、県内中南部の6市14会場で開催します。(ちなみにオリンピックは33競技です)
- 今年の沖縄大会には、過去最多の技能五輪とアビリンピックあわせて約140名の選手が出場し、メダル獲得、入賞を目指して日々練習を積み、技を磨いています。ぜひお近くの会場、興味のある分野の競技へ足をお運びになり、選手への応援をよろしくお願いします。



式典の様子(大会旗引き継ぎ)

平成30年度 技能五輪全国大会・全国アビリンピック 沖縄開催の概要

◆開催時期：平成30年11月2日～5日

11月2日(金)	合同開会式	奥武山公園
11月3日(土)	競技	那覇市民体育館、奥武山公園、沖縄コンベンションセンター、宜野湾海浜公園、浦添運動公園、沖縄県総合運動公園、沖縄県立総合運動場、豊見城市民体育館、うるま地区貸貸工場、他
11月4日(日)	競技	
11月5日(月)	合同閉会式	奥武山公園

※技能五輪は一部競技に先行日程があります。

◆第56回技能五輪全国大会42職種

- 機械系(9職種)
- 金属系(5職種)
- 電子技術系(5職種)
- 建設・建築系(10職種)
- サービス・ファッション系(10職種)
- 情報通信系(3職種)



電子機器組立て競技

◆第38回全国アビリンピック22種目

- 建築・工芸系(5種目)
- 電子・機械系(3種目)
- 情報技術系(7種目)
- サービス・ファッション系(7種目)



加工前(ビフォー) 加工後(アフター)完成品



喫茶サービス競技



ビルクリーニング競技



大会マスコットキャラクター「ワジャサー」

大会キャッチフレーズ 「未来への挑戦! challenges for the future!

問い合わせ 防災危機管理課 電話:098-866-2143 FAX:098-866-3204

広告

問い合わせ

おきなわ技能五輪・アビリンピック2018推進協議会事務局(沖縄県庁1階)
電話:098-866-2013 FAX:098-866-2082
HP: http://www.okinawa2018.jp twitter:@okinawa2018

おきなわ2018 検索